

公立幼稚園・公立保育園、放課後児童クラブ、子育て支援施設の 今後の方向性等について

1 久喜市公共施設個別施設計画について

次世代へ安心・安全かつ魅力ある公共施設を引き継ぐために「久喜市公共施設等総合管理計画」を推進し、施設の適正な配置と財政規模に応じた対策費用の平準化を実践していくための基本方針や方向性、年次計画を定める「久喜市公共施設個別施設計画」が令和3年3月に策定された。その後、市民の皆様、議会等から多様なご意見があったことから、現在、見直しが実施されている。

2 各施設の今後の方向性等について

(1) 各公立幼稚園

幼稚園2園については、建物の更新時期に利用状況等を勘案し、認定こども園への移行を含め方向性を検討していく予定である。

(2) 各公立保育園

ア さくら保育園、すみれ保育園

(ア) 変更前

機能の方向性は、「実施主体変更」とし、民間譲渡後も保育園として運営することを計画している。

民間譲渡の時期は、第1期計画の後期（2026年～2029年）を予定している。

(イ) 変更後

機能の方向性は、少子高齢化などの要因により、保育需要や必要性が定かでないことから、民間譲渡後について保育園以外での民間運用も視野に入れ「検討」していく予定である。

民間譲渡の時期は、第2期計画（2030年～2038年）を予定している。

イ ひまわり保育園、中央保育園

(ア) 変更前

建物、機能の方向性は、民間へ施設を譲渡するとともに「実施主体変更」を行い、譲渡後も保育園として運営する予定である。

民間譲渡の時期は、第2期計画の後期（～2038年）を予定している。

(イ) 変更後

建物、機能の方向性は、民間譲渡を行わず維持していく予定である。

ウ あおば保育園

あおば保育園は、令和5年3月に閉園した。

エ 中央保育園分園

中央保育園分園は、令和4年3月に閉園した。

(3) 放課後児童クラブ

小学校の統廃合の方向性に準じた対応を行う。

(4) 各子育て支援施設

児童センター、(新)久喜東複合施設(児童センター)、鷺宮地域支援センターについては当初の計画から変更なしとなっている。変更があった施設については、下記のとおりである。

ア 鷺宮児童館

(ア) 変更前

第1期後期に新設予定の保健・子育て複合施設に機能移転させ、集約をする予定である。

(イ) 変更後

第2期に現市役所本庁舎を転用して整備する子育て支援施設へ機能を移転する予定である。

イ 各ファミリー・サポート・センター

(ア) 変更前

援助業務やアドバイザーの状況を踏まえ、本部(ふれあいセンター久喜内)に集約する。なお、第1期後期に保健・子育て支援複合施設へ機能を移転する予定である。

(イ) 変更後

機能については、令和4年(2022年)に既に集約済である。また、第2期に現市役所本庁舎を転用して整備する子育て支援施設へ機能を移転する予定である。

ウ 久喜地域子育て支援センター(ぽかぽか)

(ア) 変更前

第1期後期に新設予定の保健・子育て複合施設に機能移転させ、集約をする予定である。

(イ) 変更後

第2期に現市役所本庁舎を転用して整備する子育て支援施設へ機能を移転する予定である。

エ 栗橋地域子育て支援センター（くぶる）

（ア）変更前

第1期中に健康福祉センター（くりむ）へ機能移転する。

（イ）変更後

機能を維持する。

オ （新）桜田複合施設（子育て支援）

（ア）変更前

桜田複合施設は、鷺宮東コミュニティセンター（さくら）を更新し、子育て支援機能とコミュニティセンター機能を有する複合施設を新たに整備する。

（イ）変更後

第1期中に民間商業施設の一部を賃借し、行政窓口、子育て支援機能、コミュニティセンターの機能を有する複合拠点施設として整備する。

カ 保健・子育て複合施設（子育て支援）

児童館、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センター機能を集約した子育て支援の拠点施設として、第2期中に現市役所本庁舎を転用して整備する。